



貝企画第 5 号
平成 19 年 4 月 19 日

国土交通省道路局長様

貝塚市長 吉 道



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

本市道路行政の運営について、ご支援、ご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、平成 19 年 4 月 2 日付国道企第 114 号をもってご依頼のありました標記のことについて、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

地域の自立と競争力強化、安全・安心の確保、豊かな生活環境の創造が、特に優先度の高い政策であると言える。

商業施設の進出、産業の集積等を図ることは、地域の自立と競争力の強化に大きく寄与するものである。一方、交通渋滞を緩和・解消することは、CO₂の削減効果のほか、経済効果も大きいものであり、豊かな生活環境の創造に大きく寄与するものである。このような観点から、これらに貢献するような道路整備を重点化すべきである。

また、大地震など大規模災害が発生することを想定し、主要な防災拠点や重要港湾等を結ぶ道路、被災地への緊急物資の搬送や災害復旧に重要な役割を担うこととなる道路についても重点的に整備すべきである。

以上のことから、第二阪和国道の延伸、関西大環状道路及び紀淡連絡道路の早期実現に向けて、更なるご尽力をいただきたい。

・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

現下の非常に厳しい財政状況のもと、公でしなければならないことと民に任せるべきことの峻別を行い、外部委託化など民間活力の導入を進めることが重要である。本市においても、歩道や植栽の美化活動について、アドプトシステムによる市民との協働を進めているところである。

・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

地域の実情に即して規格を柔軟に運用するなど、整備コストの縮減を図れば、より多くの路線整備を行うことができる。

国道26号は、昼夜を問わず交通量が非常に多く、交通騒音が環境基準を大幅に超えていることから、抜本的な環境保全対策を早期に講じていただきたい。

市道の舗装打ち替え工事に係る補助制度を創設していただきたい。